



中野区表彰式



しらさぎ桜苑視察



谷戸小学校
「キッズプラザ谷戸」開所式



墨田区視察



江東区視察



「アール・ブリュットde街おこし展」観賞



中野区勤労者サービスセンター
30周年記念イベント



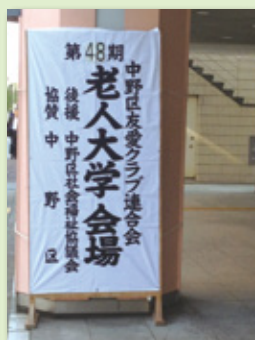
東北復興大祭典なかの



中野区立小学校フラッグフットボール大会



新宿就労施設視察



老人大学閉校式



友愛クラブ連合大会



上町町会60周年記念式典



友愛クラブゲートボール大会で挨拶



池袋防災館にて防災講習



ユニークダンスを楽しむ区民の集い

小林 ぜんいち

区議会役職

中野区議会 厚生委員会 副委員長
中野駅周辺地区等整備特別委員会 委員
中野区国際交流協会 評議員

資格所属団体等

(社)日本建築学会 正会員
(社)東京建築士会 正会員
早稲田大学稲門建築会 会員
中野稲門会 会員
福祉住環境コーディネーター協会 会員
マンションリフォームマネージャー
日本防災士機構 会員
中野区長野県人会 副会長

経歴

宮本忠長建築設計事務所東京事務所に16年勤務、TAF設計事務所に勤務。
教育・福祉・医療・文化・事務所・商業・宿泊・公共施設、耐震診断、耐震補強設計や
住宅設計等に従事。
独立後、建築専門学校等講師、住宅設計等に取り組む。



HOMEPAGE

ホームページ

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト

サイトURL

<http://kobayashizenichi.com/>

ブログURL

http://blog.goo.ne.jp/kobayashi_zenichi

Facebookは、小林ぜんいち または Zenichi Kobayashi

Twitterは、小林ぜんいち または @koba_zen

小林ぜんいち NEWS



NEW KOMEITO
公明党

第11号
2013年12月発行
中野区
公明党議員団

中野区議会の平成25年第4回定例会が11月22日から12月5日までの日程で開催され、日頃から地域の皆様より頂きます生活に身近な「小さな声」を基に、質疑を行いました。

大衆の「衆望」を担い、明年結党50周年を迎えます。次の50年へ向け、今再び「大衆とともに」との原点に立ち、議員力である「政策力・発信力・拡大力・現場力」をアップし区政に更に邁進して参ります。

小林 ぜんいち

「平成26年度予算要望書」を田中大輔中野区長に提出

8月下旬から10月にかけて、平成26年度中野区予算編成に向けた要望をうかがうため、23におよぶ各種団体と懇談会を開催しました。懇談会では、政権交代後の景気回復を受け、今後の区政の発展への期待の声が高く、区内団体のさらなる活躍の場を望む要望が多くありました。一方で、厳しい社会状況の中で、様々な配慮を必要とする区民への支援、取り組みを、公明党へ期待する声を強く感じる懇談会でした。



予算要望懇談会

その上で11月11日、田中大輔中野区長へ平成26年度予算要望書を提出しました。これには、平成26年度予算編成にあたり、防災対策、高齢者や障害者等の福祉の充実、子育て・教育環境の整備等、暮らしに直結する喫緊の課題を最重要と考え、重点項目として53項目にまとめ要望しました。

予算要望を
行いました



中野区長 田中大輔 殿

平成25年11月11日

公明党議員団

幹事長 久保 里香

白井 秀史

梁川 妙子

小林 秀明

南 勝彦

平山 英明

小林 善一

甲田百合子

木村 広一

平成26年度 公明党議員団予算要望書

昨年末の政権交代により、日本経済は景気回復の兆しを見せはじめている。また、2020年東京オリンピックの開催を目指し、国際都市東京の更なる魅力あるまちづくりが進められることへの期待が高まっている。

しかし、国内では未曾有の東日本大震災の爪痕は未だ色濃く、さらに、相次ぐ自然災害や、いつ発生しても不思議ではない首都直下型地震への備えは、我が区としても喫緊の課題と言える。また、来年度は消費税率3%の引き上げによる景気と区民生活への影響にも注視する必要がある。

高度経済成長期に集中的に整備された都市インフラ等の更新需要や、急速に進化する少子・高齢化への対応も急がれる。

公明党議員団として、平成26年度予算編成にあたり、防災対策、高齢者や障害者等の福祉の充実、子育て・教育環境の整備等、暮らしに直結する喫緊の課題を最重要と考え、重点項目として53項目について要望を行うものである。

中央2丁目水害対策に動く

今年8月中野区内は、1時間当たりになると80ミリを超えるゲリラ豪雨があり、中央2丁目大久保通りでは床上浸水の被害が出ました。そこで**小林ぜんいち**は高倉良生都議会議員と連携を取り、東京都の水害対策用の新しい貯留管が整備されたばかりの大久保通り沿いで、浸水被害が発生した問題を取り上げ、応急的な対応策の取り組みを求めました。

下水道局はこれを受け、中野区と連携して雨水マスのふたを格子状のグレーチングふたに取り替えることや取付管の新設などの対策を10月までに完了させました。

また、抜本策として「第2桃園川幹線」の早期整備を求めました。下水道局は現在、地質調査等を行っており、早期に事業着手できるよう整備を進める考えを示しました。「第2桃園川幹線」は、現在の桃園川緑道の下などに整備する下水道です。

なお、中野区中央2丁目付近の大久保通り周辺は過去に浸水被害が多く発生したことから、都は平成24年度、大久保通り沿いの地下に約5000立法メートルの貯留管を整備しました。

8月12日の豪雨では、この貯留管に3700立法メートルの雨水が入り、また付近に設置されている「かえで公園雨水調整池」にも約670立法メートルの雨水が流れ込みました。



中野区中央2丁目付近

かえで公園雨水調整池構造図

橋場保育園の建替え進む

中野区立橋場保育園が老朽化等により、建替えが進められています。現在、仮園舎の建設が上町公園拡張予定地(中央4-36)で進み、年内に引っ越しを行い平成26年度いっぱいまで区立保育園として保育が行われます。新園舎は、現保育園と旧橋場児童館の解体撤去を行い、平成27年4月に現在の保育園の場所で民間の設置運営事業者(社会福祉法人)により、78名の定員増が図られ定員177名で開園する予定です。



橋場保育園仮園舎 配置図



建設中の仮園舎

中部すこやか福祉センター

中部すこやか福祉センターの「ご利用ガイド」ができました。中央3丁目の旧仲町小学校後に出来た中部すこやか福祉センターでは、「育てに関する相談」や「子育てひろば・どんぐり」、「保健・福祉に関する相談」、「地域の支えあい」、「高齢者の生活全般、介護予防・支援の相談」のできる「中野地域包括支援センター」。「障害のある方の相談」や「障害者の就労を支援」する事業所のほか、会議等の利用も出来ます。

【問合せ先】
中部すこやか福祉センター
03-3367-7788



ご利用ガイド

ヘルプカードを配布

障害のある人は、災害発生時や緊急時などにおいて、障害の種別や特性などに応じた支援を必要としています。

区では、支援を必要とする人と支援を行う人を、適切に結びつけることを目的として、ヘルプカードを作成し、配布しています。

ヘルプカードには、緊急時の連絡先や、配慮してほしいことなどが記載できるようになっており、支援を必要とする人が身につけておくことで、いざというときに必要な支援を受けるのに役立ちます。



区は、地域において障害者への支援の輪を広げていくために、ヘルプカードの普及啓発に取り組んでいます。

【配布対象】
障害のある人など
【問合せ先】
障害福祉分野
03-3228-8832



胃がんハイリスク検診(ピロリ菌検診)を開始

胃がん撲滅へ!ピロリ菌の検診と除菌の強化!

本年6月より胃がんハイリスク検診(ピロリ菌検診)が開始されました。血液検査でわかる簡単な検査で、胃がんの最大の原因と言われるピロリ菌の早期発見の検査です。日本人の2人に1人はピロリ菌を持つと言われており、除菌によって胃がんを予防できると期待されています。

【対 象】中野区内在住の40・45・50・55・60・70・75歳の方

【受信費用】500円 【受信場所】区内指定医療機関

【申 込】対象者には受診券を発送しました。
受診の際は、事前に医療機関に予約をお取りください。

【問合せ先】健康推進分野 03-3228-8826

公明党が国で推進しました!
ピロリ菌を発見した場合、
ピロリ菌除菌の保険適用が
慢性胃炎まで拡大されました。



後発医薬品(ジェネリック医薬品)利用差額通知サービスがスタート

お薬代が安くなります
ジェネリック医薬品

現在服用されているお薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合、どの程度お薬代の自己負担を軽減できるのかを差額通知するサービスがスタートしました。ジェネリック医薬品は、値段が3~5割程度安くなると言われています。対象は、国民健康保険加入者、生活保護受給者から処方データで抽出された方です。また、このサービスは増え続ける医療費の抑制についても期待されています。区では初年度として約1000万円の効果が試算され、年々効果が上がると期待されています。

